

【若手研究グループ No. 08】

第 1 回若手研究グループ 「原子力エネルギー用材料研究会」

日本における原子力材料研究を取り巻く環境は、福島第一原子力発電所の事故以降に大きく変化し、今後の材料照射研究についての新たな戦略、議論が必要となっています。本研究会では、既設炉及び革新炉材料研究に携わる産学官の若手研究者を中心として、照射損傷及び微小試験片技術をテーマに原子力材料研究における問題認識を共有化し、本分野が置かれている現状と今後 10 年間の展望について議論を行います。

日 時 2023 年 6 月 16 日(金) 13:00～17:30

場 所 BIZcomfort 水戸 会議室 4 (茨城県水戸市宮町 1-2-4 MYM ビル 10 階)

— 13:00 ～ 13:10 —

(1) 若手研究グループの趣旨説明 岡 弘 (北大)

— 13:10 ～ 14:10 — 照射損傷 1

(2) 析出物の照射下相安定性と非平衡統計熱力学 座長 岡 弘 叶野 翔 (東大)

(3) 核融合炉ダイバータ用材料に関する照射研究課題 福田 誠 (QST)

(4) 核融合炉材料開発における加速器照射の有効性と材料照射炉の必要性 宮澤 健 (JAEA)

— 14:10 ～ 15:10 — 照射損傷 2

(5) 透過型電子顕微鏡を用いた軽水炉構造材料の中性子照射劣化評価技術 座長 叶野 翔 瀬戸 仁史 (NFD)

(6) 核融合炉機能性材料中の水素同位体に対するガンマ線照射効果 近田 拓未 (静大)

(7) 原子力用高濃度固溶体合金の照射損傷 岡 弘 (北大)

— 15:25 ～ 16:45 — 微小試験片技術

(8) 小型試験片を用いた原子炉 RPV 評価手法の開発 座長 宮澤 健 石寄 貴大 (日立)

(9) 脆性材料評価のための微小試験技術の紹介 能登 裕之 (NIFS)

(10) 原子力材料開発におけるミニチュア試験技術の重要性と課題 丹野 敬嗣 (JAEA)

(11) Mini-C(T)試験片を用いたマスターカーブ法破壊靱性試験による圧力容器鋼脆化評価技術

櫻谷 誠司 (NFD)

— 16:45 ～ 17:30 —

(12) 自由討論

企画責任者 岡 弘 (北大)

参加費 無料

申込・問合せ 6 月 9 日 (金) までに E-mail にて氏名・所属・電話番号を明記してお申込み下さい。

〒060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目

北海道大学大学院工学研究院 材料科学部門 岡 弘

TEL : 011-706-6769 Email : hirosi_oka@eng.hokudai.ac.jp